

関東信越厚生局第1回地域包括ケア事例研究会

～新しい生活様式における生活支援を考える～

日程:令和2年9月18日(金) 13時30分～17時00分

会場:さいたま新都心合同庁舎1号館 多目的室・

参加人数:会場 21名

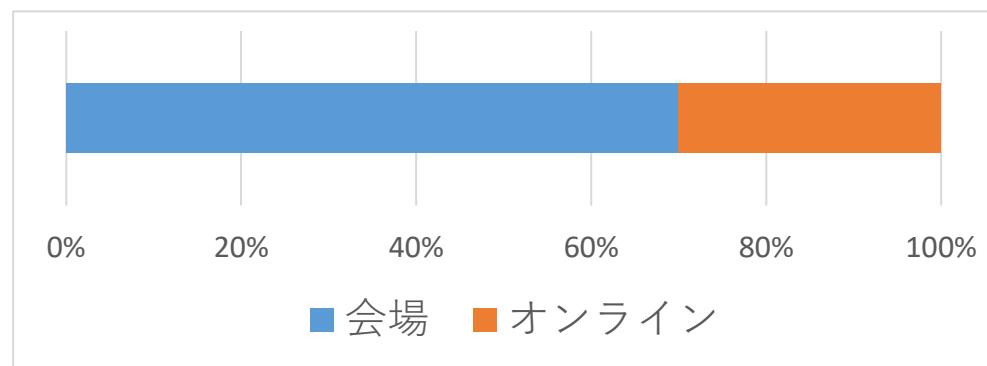
オンライン 35名

アンケート回収率:53.6%



～アンケート結果～

1. 本事例研究会は、オンラインと会場のどちらの参加でしたか



2. 行政説明はいかがでしたか

①大変参考になった	②参考になった	③普通	④あまり参考にならなかった	⑤参考にならなかった	⑥回答なし	合計
8	15	6	1	0	0	30

※自由記述 14本

- コロナ禍でなかなか事業をすすめることができませんでした。取り組み事例をじっくり参照したいと思います。
- オンラインでの通いの場アプリの存在を知りませんでした。何かに活かせないか、考えていきたいです。
- 前例のない新しい生活様式に基づいた各事業の取組みについて、事例や施策の動向を知ることができたためです。

3. 講義はいかがでしたか

①大変参考になった	②参考になった	③普通	④あまり参考にならなかった	⑤参考にならなかった	⑥回答なし	合計
14	14	2	0	0	0	30

※自由記述 20本

- 企業等への連携には、困り事の明確化と、具体的な支援の方法を提示する事という点が、大変参考になりました。今、企業との連携をすすめたいと思っていますので、実践にいかしていきたいです。
- 埼玉県立大学講師のご講義は、目標を明確にし、達成するための段階や戦略がとても良く分かる内容だった。さわやか福祉財団の事例は、住民の力をあらためて感じる内容だった。大学の力を借りると分かって参考になった。
- コロナ禍でも、もともと活動していた住民の方は取り組みを工夫して活動を続けていることが分かった。居場所が大切だと再確認した。

4. 意見交換の内容は、今後、貴職の業務に活用できる内容でしたか

①大変参考になった	②参考になった	③普通	④あまり参考にならなかった	⑤参考にならなかった	⑥回答なし	合計
7	17	5	1	0	0	30

※自由記述 21本

○他市の状況がうかがえて良かったです。グループ内では、不安材料ではなく、安心材料として、「こういうふうに工夫している」などを発信しているとかがい、防止対策などに目がいく中、とても前向きな方法で、とても参考になりました。

○会わなくてもつながれる「ゆめ伴プロジェクト」が、今地域でどこもっている高齢者の方の社会参加のきっかけになるとと思いました。

○これまで関わりのなかったサークル同士が、ZOOM等を通して交流が始まった事例を聞けたのが良かった。

5. 本日の事例研究会の感想や内容、今後取り扱ってほしいテーマについてのご意見等をご自由にご記入ください

※自由記述 11本

○コロナ禍における活動を休止している団体へのアプローチの留意点や、こんなことをしたら失敗した例も講義があると、さけていく方が良いものが明確になる。

○このコロナ禍で、現地に行かず研修を受けさせていただけるのはとてもありがたいと思いました。聞き取りにくかったり、資料が見えなかつたりとの事はありましたが、今後に活かして頂けたらと思います。グループワークは同じ立場からの意見が聞きたいと思いましたので、今回と同じテーマでも、違ったメンバーで出来たらと思いました。ありがとうございました。

○他自治体の取り組みが聞け、参考になった。ボランティア活動などを行ったことのない方の掘り起こし方やボランティア人口の増やし方の取り組みについて、話してみたい。